

ホームページ閲覧数が20万を超えました。熱心な保護者皆様、地域の皆様のおかげです。たくさんの方々に、大江の風によって、子どもたちのよさ、教職員の頑張りが伝わるといいなあ・さわやかな大江の風を感じてほしい・と思っておりました。いつも読んでくださってありがとうございます。



大江の風

1月25日



初任で出会った当時6年生の女の子、まみちゃん。今は立派なお母さん。大江小には全く関係ない彼女からも「大江の風、旦那様と一緒に読んでいます。先生変わらな〜い！」と突然メールが来ました。とっても嬉しかったです。いろんな人に大江のよさが伝わるといいな〜。

今週は『給食週間』です！ その①

月曜日、1月24日は、給食記念日でした。1年生は、初めての給食記念日。そこでお昼の放送で次のようなお話をしました。

明治22年、いまから130年以上前、山形県の小学校で、お弁当を持ってくることができない子どもたちのために、おにぎり、焼き魚、つけものといった簡単なものをお昼ご飯に与えたのが、日本の学校給食のはじまりです。そして、食べ物が十分にないことからくる子どもたちの栄養不足の状態をよくするために、昭和7年以降は、国からお金の補助がくるようになり全国に広がっていききました。昭和21年、戦争が終わって食べるものがなく栄養不足の日本の子どもたちを見て、外国から粉ミルクや缶詰、小麦粉が送られてきました。それによって、戦争のため中止していた給食を再び始めることが出来ました。この物資の贈呈式は12月24日に行われましたが、学校は冬休みにはいっていたので1ヶ月後の1月24日を給食記念日としたのです。

さて、給食のはじまりは、おにぎり、焼き魚、つけもの。みんなの大好きなカレーやスパゲッティの給食とはちょっと違いますよね。でも昔の子どもたちは、とても貧しくて、おなかぺこぺこだったので、この給食を「ありがとう」「ありがとう」「うれしいよ」と、感謝の気持ちをいっぱい、食べていたのだと思います。

さあ今はどうでしょう。とっても、贅沢な給食ですよね、しかも、給食には「おにぎりくんタイム」で教えてもらった3つの栄養「きいろ、赤、みどり」の食べ物が、全部入っています。そろっています。つまり、毎日給食をしっかりたべたら、免疫力アップ！コロナなどの病気にも強い体になるということです。今、毎日たくさんの、残菜があるそうですね。先生たちは残さないから、もっと子どもたちが食べなきゃだめだよ。

校長先生はいろいろな学校に勤務しましたが、大江小学校の給食は、格別においしいと思います。お世辞ではありません。そして今、給食を作ってください先生方は、コロナ感染拡大防止にとっても注意をしながら、一生懸命作ってくださいしています。また野菜も一枚一枚丁寧にあらって、それぞれにゆでて使うなど、衛生に気をつけ、安心して安全でおいしい給食をつくってくださいます。作ってください給食の先生方に感謝して、また自分の健康・免疫力アップのためにも、できるだけ残さず食べてほしいと思います。

給食に携わってくださいすべての人に感謝しながら、心をこめて「いただきます」と言います。また、食材になっている「動物や植物の命をいただきます」ということも考えながら、心をこめて「いただきます」と言います。そして、今週の給食週間は特に、給食について一人一人が関心をもって、考えてくれるとうれしいです。

おまけ



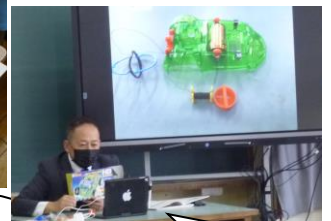
各クラス、給食室の先生方に感謝の気持ちを表す掲示を作っています。とてもカラフルですね。きっと喜んでいただけるでしょう。



6年生が卒業文集の清書をしていました。大江は卒業アルバムと文集は合本です。大人になって読むと楽しいよね。きれいな字で書いています。



2年生は初めてのカッターナイフ工作。みんな真剣に切っています。集中していますね。



理科室から専科の先生が学級閉鎖のクラスに配信していました。ちょっと寂しかったよ。みんなお家でがんばっているかな〜。えらいよ。

今リモート授業でがんばっている人たちへ。先生から指示されることだけでなく、この機会に自分で興味のあることを追求するような学びができればいいですね。ピンチをチャンスにかえよう！

レッツ 寅(トラ)イ！！

